

ウィリアム・メレル・ヴォーリズと近江八幡

ウィリアム・メレル・ヴォーリズ（1880-1964）は、アメリカ生まれの建築家、実業家、キリスト教宣教師であり、その生涯の大半を近江八幡で過ごし、現在も近江八幡に豊かな遺産を残している。近江八幡の高校で英語を教えながら布教活動を行い、その後、建築、出版、医薬品の販売などを手がけ、宗教活動の資金を調達した。また、公共事業への強いこだわりから、学校や医療施設もいくつも設立した。

近江八幡市にはヴォーリズが設計した建物が 20 棟以上残っており、彼の功績が偲ばれる。また、ヴォーリズが設立した薬品販売会社「近江兄弟社」の事務所前にはヴォーリズ像があり、終の棲家であるヴォーリズ記念館では、その生涯と業績を称えている。